

## 診療所実習を通して学んだこと

あかりこどもクリニック 3年 YA

私は令和6年8月9日にあかりこどもクリニックで実習をさせていただきました。

午前中は受付スタッフの仕事を見学させていただき、また注射の後に貼るブラッドバンへのイラスト描きを行わせてもらった。受付スタッフの仕事を見学させていただく機会は今まで無かったので非常に勉強になった。患者が来院した際にまず対応するのが受付スタッフである。あかりこどもクリニックでは、どの患者もまず受付の際に問診をしてから、重症度によって隔離室、処置室、待合室などに振り分けていた。病院によっては隔離が必要な患者は別の入り口から入るところもあるが、あかりこどもクリニックではネット予約の段階では知ることができなかったより具体的な患者の状態などを受付で直接患者と保護者に問診することで、不安を軽減しその場で患者を振り分けていた。このような流れができるように病院の間取りも工夫されており感銘した。また受付と診察室の距離が非常に近く、院長先生とスタッフとの意思疎通も円滑に行われていた。院長先生が診察している際も、スタッフが疑問に感じたことをすぐ院長先生に確認することができる雰囲気が自然と作られていた。疑問をもったまま業務を進めているスタッフがおらず、安心して業務が行える良い環境だと感じた。予防接種の患者も多く来院していたが、以前大学で学んだように小児の予防接種は種類が多く、さらに接種の間隔も決まりがあり複雑であった。間違いを防ぐためにまず事務スタッフが接種内容の確認を行い、同時に体調不良がないかも確認する。次に看護師が確認をし、最後に院長先生が確認していた。1人の人が精度を上げて確認をするのは限界があるため、複数人で確認をすることで間違いを減らそうとしていた。患者が帰る際には受付に来ていただくのではなく、事務スタッフが患者のほうに向かい次回の診察日の確認や会計を行っていた。患者が帰る際に受付に来てもらう病院が多いのに対し、あかりこどもクリニックは小児科であり、小さい子供を連れて保護者への配慮からこのような流れをとっていた。ブラッドバンへのイラスト描きでは、こどもが好きそうなイラストを描いて色を塗った。午後に診察を見学させていただいた時に、注射の後にイラスト付きのブラッドバンを貼ってもらった小児患者が非常に嬉しそうにしており、私まで嬉しい気持ちになった。

昼の休憩の際には、クララクリニックでの新生児の診察に同行させていただいた。生まれたばかりで入院している新生児、外来に検診でやってきた新生児の診察を見学させていただいた。生まれたばかりの新生児には手や足に奇形がないか触診し、心臓の音を聴診していた。私も心臓の音を聞かせていただいたが、タンタンタンと表現されるような成人よりも非常に速い拍動であった。院長先生は新生児の心雑音を聴取されており、私も聴かせていただいたがわからなかった。これから先の実習などの経験を通して聴取できるようになりたい。あかりこどもクリニックもクララクリニックもスタッフや患者を非常に大切にされており、それが伝わってくる温かい雰囲気であった。院長先生は月に何回かクララクリニックで新生児の診察を行っていると伺った。似たような志を持つ病院同士が連携しあって地域の医療を支えている様子を実感することができた。このような連携を通して協力しながら地域を支えていく

ことが地域医療における診療所の役割だと考えた。私も医師になってからも人との出会いを大切に、その中で自身も成長し、患者さんのためにより良い医療を行える医師になりたいと考えた。

午後は隣の薬局での食物アレルギーに関する指導を聞かせていただき、医院長先生の診察を見学させていただいた。あかりこどもクリニックと隣の薬局が連携をされていて、食物アレルギー専門栄養士が食物アレルギーとどのように向き合っていくかなどの詳細な内容に関して患者に説明をしていた。アレルギーの治療は、かつてはアレルギーの原因となる物質を避けて生活する方法が取られていたが、現在では栄養士の指導のもと少量ずつ慣らしていき克服する、という方法が取られていることを学んだ。また薬局では低アレルゲンの食品も売られていた。米粉を使用したロールパンやメロンパンなども売られており、アレルギーを持つ人でもアレルギーのない人と同じようなものが食べられるような取り組みがされていることを学んだ。診察では、予防接種で来院した患者さんが多かった。注射の際に注射をする方の患者の腕を押さえさせてもらった。注射に不安そうな患者も多かったが、患者が見ていない間に打つとあっという間に終わっていた。またインターネットの予約の際に患者に病歴を入力してもらい、来院した際に受付でさらに詳しい病歴を聴取し、入力することで院長先生が診察の前に患者の状態を知ることができる仕組みが整っていた。受付スタッフも院長先生も患者の声によく耳を傾けている様子が伝わってきて、小さい不安などもきちんと聞いてもらうことができ患者も安心できる場所だと感じた。

私は、医師という職業は忙しく自分を犠牲にすることが多い職業だと思っていたが、今回の実習を通してそのようなイメージは違うのではないかと考えた。あかりこどもクリニックでは「心のこもったケアのサイクル源は個々が幸せであること」<sup>1)</sup>という考えのもと、スタッフも業務を行っていた。スタッフの方も皆様優しく思いやりの気持ちを持って仕事をされている様子で、そのような態度で接すると患者さんも安心して病院に来ることができるのだと考えた。私は今医師になるために勉強中であり、医学的知識や技術を身につけることに目が向きがちであることに気がついた。自分自身が幸せであることがより良い医療を提供できる、という新しい気づきを今回の実習を通して得られたので、自分なりの幸せを見つけ、勉強の方も頑張っていきたいと思った。

最後になりますが、お忙しい中、実習をさせていただいた、あかりこどもクリニックの医院長先生をはじめとするスタッフの皆様、クララクリニックの皆様、わかば薬局の皆様、そして診察の見学に同意してくださった患者の皆様、誠にありがとうございました。たくさんのごことを学ぶことができ、非常に有意義な実習となりました。これからの学修に生かしてまいります。

## 参考文献

1) あかりこどもクリニックホームページ <https://akari-kodomo.com/>